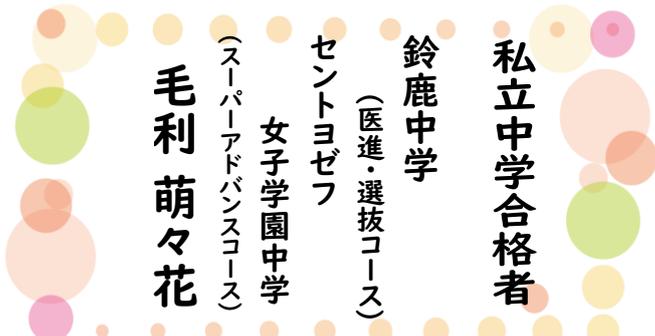


3年前、小学4年生コースは生徒一人でのスタートでありました。一人の生徒であっても、今まで通り授業形式で基本の考え方を説明した後、問題演習をしてもらう形は変わりません。ただ先生の視線が絶えず一人に注がれるので、その生徒にとって苦痛でないだろうか心配していたのですが、彼女は「一人の方が良いです」とあっけらかんと答えてくれました。初めの頃、算数の感覚があまり良くなかったのですが、彼女の学ぶ姿勢が本当に素晴らしく、宿題は当たり前ながら必ずやりますし、何より良いところは、理解できたところと分からないところを明確に表現してくれるところでした。苦手のところでは、「この手の問題、嫌いやわ」とはっきり言うってくれるので、ならば、とこちらもゆっくり繰り返し説明をし、類題を少し多く解いてもらう。決して威圧感を与えないように気を配りながら、授業を進めていきました。思い起こせば、私自身、学ぶ意欲のある生徒に教える喜びを感じながら、授業が出来たと思います。

そうやって3年が過ぎ、彼女の学力も3年前と比べ物にならないほど向上いたしました。それは教えていて判る実感であります。ただ、受験となると、緊張もするでしょう、頭が真っ白になってしまうこともあるでしょう、ましてや、明正から一人での受験であります。緊張して彼女の本来の実力が発揮できないことだけが心配でありました。

しかし、そんな心配をよそに、見事、希望の中学に合格してくれました。彼女の真面目さに心より「よく頑張ったね、おめでとう。」そして、ご両親に対して、宿題も少なく物足りなく感じておられたかもしれませんが、私共を最後まで信じてくださったことに感謝いたします。ありがとうございました。



私立中学合格者

鈴鹿中学

(医進・選抜コース)

セントヨゼフ

女子学園中学

(スーパーアドバンスコース)

毛利萌々花

論語書道コンクール入賞作品

<p>中一水越 約一</p> <p>子曰わく、 教ぎを温めて新しきを 知者は以て師たるべし</p>	<p>小六 二村航大</p> <p>文行忠信</p> <p>子曰わく、 四つを以て教う。</p>	<p>四年 井上愛心</p> <p>子曰わく、 学ばざれば則ち罔く、 思わざれば則ち罔く、 思いて学ばざれば 則ち殆し。</p>	<p>中二年 小倉優希</p> <p>子曰わく、 学ばざれば則ち罔く、 思わざれば則ち罔く、 思いて学ばざれば 則ち殆し。</p>	<p>子曰わく、 性相近し、習相遠し。</p> <p>山田愛子</p>	<p>今西孝文</p> <p>子曰わく、 賢を見て は齊しからんことを 思ひ、不賢を見ては 内に自ら省みる。</p> <p>子曰わく、 過て改めざる 是れを過と謂う。</p>
---	--	--	---	---	---

連絡事項

2月11日(火) 全クラス休塾

2月24日(月) 通常授業を行います

漢字検定

試験日 2月16日(日) 10時、13時40分～

